

2019年も協力を：ITU事務総局長の新年のご挨拶



ITU 事務総局長

Houlin Zhao

日本ITU協会を通じITUの日本の関係者の皆様にご挨拶をさせていただき機会を頂き光栄に存じます。

ITUへの最大の拠出国で、技術分野では最大の貢献国でもあり、また世界の発展に寄与するため、人々やモノを情報通信でつなげる積極的な取組みについて世界のリーダーでもあります日本は、ITUの最も大切なパートナーです。日本のセクターメンバーや産業界は長年にわたりいつもその先導役でした。

近年では民間セクターと独立行政法人 国際協力機構 (JICA) とが提携して発展途上国の情報通信技術 (ICT) を推進する革新的な協力計画を成就しました。例えば、富士通はベトナムでICTの技術を農業に導入して、安全かつ安定した農業生産をもたらすことができました。

多くの国々がICTの力で国連が提唱する持続可能な開発目標 (SDGs) の推進に弾みをつけようと試みていますが、私はインフラ、投資、技術革新、包括性の促進に力を尽くし成功を取めている日本の取り組み方を参考にしようと考えています。

パートナーシップはITUのDNAの一部とも言えます。ICT分野の国連専門機関であるITUは無線スペクトラム、衛星軌道、通信技術やサービスの国際標準の作成、そして発展途上国が国連のSDGsに沿ってICTのインフラや開発政策の計画を実施するための援助など様々な活動を193の国メンバーや800を越える産業界、アカデミー等のメンバーの協力で進めています。このようにITUの幅広いパートナーシップがこれらの業務を国際的な規模で成し遂げる鍵となっています。

2018年に達成した業績をいくつか述べたいと思います。

革新的な技術を率いる上でITUはその利害関係者と共に、今まで着実な進展を成し遂げ、新しい技術が環境に

優しく効率的で安全、かつ低コストとなるよう尽力しています。また誰もがどこでもインターネットの恩恵を受け莫大なりソースにアクセスできるよう、ITUはデジタルデバイドの解消に向け大きく前進をしました。これについてITUはITUのパートナーと共にチームを組み、成功裡に成就させるよう2019年以降も協力を呼びかけていきたいと考えています。

新技術の推進に向けて

技術の世界は急速に変化し、それに伴いITUも変化しています。

ITUはいかにして人々により良いICTサービスを提供し、第4次産業革命の期待に沿うことができるのか、これまでよりもさらに、ITUは取り組んでいかなければならないと思います。

ここ数年間、ITUは技術革新の最前線にいました。ITUは人口知能 (AI)、Smart cities、デジタル通貨等からモノのインターネット (IoT)、新時代のテレビ、第5世代移动通信 (5G) システムに至るまで広い分野の標準化に携わってきました。またITUはICTのインフラの開発を容易にするための活動もしてきました。

新しい年にはITU世界無線通信会議 (WRC-19) が開催予定で、5Gシステムの新しい周波数割当て、周波数識別、成層圏プラットフォームや非静止衛星などについて審議が行われる予定です。今、これらの審議が順調に執り行われるようコンセンサスの準備が行われているところです。

ICT発展のための提携

ICTは順調に進展しているのですが、未だに世界の人口の約半分の人々は通信につながっておらず、これらの人々



はデジタル革命の恩恵を受けていません。そこでITUはそのキーパートナーの役を担い、その発展に取り組んでいます。SDGsの達成に向け、広帯域インターネットへのアクセスが手頃な料金で誰もが利用可能となるようITUは加盟国やその他のメンバーをサポートしています。ITUはスケールメリットや相互接続性を向上させるため、法制面と標準とが国際的に調和がとれるよう幅広く通信業界の人々を集めてきました。2018年末には世界で約44億のブロードバンドの加入者が見込まれています。加えて、ITUは兄弟である国連専門機関との協力関係を強め、共通の重要なプロジェクト、ICT普及の事業のテコ入れを行いSDGsの進展に貢献しました。

このプロジェクトでITUはデジタル普及のためのデジタルリテラシーから健康、財政まで多岐にわたる事項にも取り組みました。大変光栄なことに、インフラ整備の発展のため外部の機関であるブロードバンド委員会 (Broadband Commission) や国際労働機関 (ILO) と共に、将来の労働力の訓練プログラムを実施したり、国連WomenともEQUALSイニシアティブに加わりデジタル・ジェンダー・デバイドの解消に向け協力をしています。

進歩と繁栄のためのスキルの形成と雇用機会の促進

ITUは若者たちがもっとデジタル分野での雇用機会を得られるようICTスキルの形成の援助を先導しています。昨年、ITUは国連Women、アフリカ連合と一緒にアフリカの女性たちにデジタルリテラシーのスキルを身につけてもらう

ためのイニシアティブを立ち上げました。

またITUは各国の政策立案者、民間や非政府組織やアカデミーのパートナーの人々に向け「ITU's Digital Skills Toolkit」を発行し、何百万の若者が就職に結びつくデジタルスキルを身につけるよう役立ててもらいたいと願っています。

昨年南アフリカのダーバンで開催されたITU世界テレコム2018では94か国3,100人の参加者が集まりました。その際に若者のイノベーターと企業とが一堂に会して企業の専門家が若者にアドバイスを与える機会を作りました。さらにITU Telecom賞を若いイノベーターに授与して彼らのイノベーションの功績をたたえました。

さらなる成功に向け緊密な協力関係を

私はこれまでITUが成し遂げてきた事業によって大変勇気づけられているように感じます。これは共に密接に手を取り合って事業に挑んできたため、事業は大きく前進し、結果的に持続性のある包括的な発展に結びつくことができたと思っています。幅広く異なるグループや人々が一連の共通の目標に向かって協力すれば大きな成果をもたすことを確信しています。

日本ITU協会やITUのメンバーの方々、これからも国連の開発計画の2030年の達成に照準を合わせ、力を合わせて推進していきましょう。

2019年が皆様にとって平和で健康で幸福な年でありますよう心よりお祈り申し上げます。